



私たちの生活が豊かになる一方、知らず知らずのうちに野生生物に害を与えているかもしれません。共に地球に生きる生き物として、私たち一人ひとりが考える必要があるのではないのでしょうか。

～釣り針の刺さったハクチョウが搬入されました～

2020年12月7日、相馬市みさご沢のため池にて脚に釣り針が刺さったオオハクチョウが保護されました。釣り針はバス釣りに使用される大型のものでした。なんとか針をとろうともがいたとおもわれますが、くちばしや羽からも出血していました。幸い発見が早く衰弱していなかったこと、また、腱や神経にまで針が到達していなかったことから、保護して4日後無事に保護地へ戻してあげることができました。



図1. 治療の様子  
釣り針を取り除いています。

オオハクチョウは家族単位で生活する鳥です。野生に戻す際、ため池にオオハクチョウの姿はありませんでしたが、どこからともなくオオハクチョウが一羽飛んで来て「コーコー」と鳴き合っていました。もしかしたら感動の再会だったのかもしれない。

センターには首と足にビニールテープが巻き付いているハクチョウや脚にテグスのような糸が絡まったカワラヒワなど多くの通報があり、搬入されます。



図2. 刺さっていた釣り針

私たち人間が豊かに暮らすために作り出した道具で怪我をしてしまう野生生物がたくさんいます。人間には何気ない小さなゴミでも野生動物にとっては凶器となります。互いに心地よく生活できる環境のために「ゴミは持ち帰る。」当たり前のことですが、徹底をお願いします。



図3. 野生に戻す際の様子  
元気に野生に帰って行きました。

**\*季節はずれのハクチョウを見守ってください\***  
日本で越冬し春になると別の地域に移動する「渡り鳥」であるハクチョウですが、まれに春になっても移動しない個体が確認されています。それらの個体は1年をとおして日本で生活できており、順応していることも確認されています。外傷などが見られない場合は、彼らの生活をそっと見守っていただきますようお願いいたします。

# あだたら 森の回覧板



Vol. 14 夏号

オオルリ



## 【謎解きトライアングルクイズラリー2021を開催します!】

7月22日(木)から10月31日(日)まで、謎解きトライアングルクイズラリー2021を開催します! 福島県環境創造センターの附属施設(野生生物共生センター、猪苗代水環境センター)2ヶ所と福島県環境創造センター交流棟(コミュタン福島)の計3会場を巡ることで、各会場ごとのオリジナル参加賞や、3会場すべて参加するとコンプリート賞も貰える参加型の楽しめるクイズです。

**参加方法** パンフレットはそれぞれの施設でも配布しています。パンフレットを持っていない人も来館して参加してみてください。

野生生物共生センターの展示室内には、2つの「クイズ」が隠されています。この回覧板を見た人にはちょっとヒントを教えちゃいます!

ヒント クイズが隠されている場所は下の2枚の写真に映っているかも!?



図1. 野生生物共生センターの正面



図2. 展示室内の写真

野生生物共生センターでは、野生動物の剥製やパネルの展示、映像放映等をおこなっており、入館料無料で自由に見学・閲覧できます。事前にご相談いただければ、団体でのご利用や職員による解説などの対応も可能ですので、興味をお持ちの方はお問い合わせください。  
詳しくは... [HP](#) [環境創造センター](#) [検索](#)

発行: 福島県野生生物共生センター  
〒969-1302  
福島県安達郡大玉村玉井字長久保67  
電話 0243-24-6631  
開館時間 9:00~17:00  
休館日 毎週月曜日  
(祝日の場合はその翌日)



# 環境学習会

野生生物共生センターでは、今年度、ふくしまの野生動物や生き物の生態について学ぶことができる環境学習会を、計5回開催します。8月に実施する各回のテーマは以下のとおりです。

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| <p>第4回 2021 8/7(土)</p> <p>9:00~12:00</p> <p>応募締切 7/30(金)</p>  | <p>テーマ 昆虫観察とトラップ作りを通して生態環境について学ぼう!</p> <p>講師 吉岡 明良先生・趙在翼先生・石井 弓美子先生<br/>(国立研究開発法人国立環境研究所)</p> <p>会場 実施場所 コミュタン福島(三春町)<br/>集合場所</p> <p>定員 親子40名</p>        | <p>第5回 2021 8/8(日)</p> <p>9:15~12:00</p> <p>応募締切 7/30(金)</p>                      | <p>テーマ 自然を発見しながら命のつながりや自然のしくみを学ぼう!</p> <p>講師 佐藤 七重先生・磯海 弘子先生・鈴木 由美子先生<br/>(日本野鳥の会 郡山支部)</p> <p>会場 実施場所 高篠山森林公園(郡山市)・開門9:00<br/>集合場所</p> <p>定員 親子40名</p> |
| <p>第8回 2021 8/21(土)</p> <p>9:00~12:00</p> <p>応募締切 8/13(金)</p> | <p>テーマ 特定外来生物のウチダザリガニを釣って・食べて・駆除しよう!</p> <p>講師 長岡 幸二先生(NPO法人裏磐梯エコツーリズム協会)</p> <p>会場 実施場所 松原湖付近の川及び沼(北塩原村)<br/>集合場所 裏磐梯サイトステーション(北塩原村)</p> <p>定員 親子40名</p> | <p>第10回 2021 8/28(土)</p> <p>①10:00~11:30<br/>②13:00~14:30</p> <p>応募締切 8/20(金)</p> | <p>テーマ ミバチの生態やちみつができる過程を学んで、持続可能な環境について考えよう!</p> <p>講師 伊藤 身輔先生(有限会社ハニー松本)</p> <p>会場 実施場所 休暇村裏磐梯天文台ホール(北塩原村)<br/>集合場所</p> <p>定員 親子40名</p>                |

上記以外にも、環境創造センターの附属施設である猪苗代水環境センターでも環境学習会を実施します。参加を希望される方はエフエム福島(ふくしまFM)のWebサイトからお申し込みください。以下 URL または QR コードからアクセス!!

→ <https://www.fmf.co.jp/event/kankyo2021>



# 業務紹介コーナー ~傷病動物動画の公開~



~交通事故にあったキツネが森へ帰るまでの軌跡を動画で公開しました~

保護されたキツネが野生に復帰するまでをまとめた動画を公開しました。キツネの頭には傷があり、血が出ていることと現場の状況から交通事故にあったようでした。保護されていたときは弱っていましたが、復帰訓練を経て、約1ヶ月半後無事に野生復帰をすることができました。痛々しい姿で保護されたキツネが、野生に帰って行く姿を皆さんの目でご確認ください。

Youtubeチャンネル「福島県環境創造センター」またはQRコードからご覧いただけます。この動画をきっかけにして、私たちと野生動物の関係について、皆さんと共に考えていけたら幸いです。

動画は以下福島県環境創造センターのYouTubeチャンネルからご覧いただけます



<Youtubeのチャンネル名>  
福島県環境創造センター交流棟コミュタン福島



他にも色々な動画があるよ!  
チャンネル登録してみよう!!



リスティーン

# 業務紹介コーナー ~ニホンカモシカの救護~

~孤高の森の隣人 ニホンカモシカ~

ニホンカモシカ(以下「カモシカ」と言う)は、ニホンジカと違って群れを作りません。森の中で、ひっそりと暮らす孤高の隣人で、特別天然記念物に指定されています。

カモシカが人の目に触れるのは、餌を求めて別の森へ移動する時です。これを生息地横断と言います。民家や道路を超えていくことになるので、カモシカにとってとても危険な行為です。

一般に、沢を中心に行動していると言われ、沢を下って平地に出て目指す森へ移動します。逆に、森に戻る際も沢を上っていくことになりませんが、高さを増していく環境に行く手を阻まれ立ち往生します。人目を引くのはこのような時です。

カモシカレスキューの基本は、森に帰る道を誘導する「追い払い」です。「山あげ」と呼ぶ地域もあります。出血や歩行困難など外傷が疑われると、傷病動物として救護活動が開始されます。

令和2年度のカモシカの救護状況を、表1に示します。

表1 レスキュー内訳

| No. | 発生日        | 救護・目撃場所  | 原因・診断              | 対応           |
|-----|------------|----------|--------------------|--------------|
| 1   | 2020.6.21  | 田村市都路町古町 | 錯誤捕獲による衰弱          | 死亡           |
| 2   | 2020.6.21  | 会津若松市    | 目撃情報               | 回帰           |
| 3   | 2020.7.27  | 伊達市霊山町大石 | 原因不明の衰弱            | 死亡           |
| 4   | 2020.8.15  | 相馬市山上    | 交通事故による左前肢裂傷と右後肢骨折 | 出血を伴う肺水腫にて死亡 |
| 5   | 2020.11.22 | 福島市      | 目撃情報               | 回帰           |
| 6   | 2020.1.2   | 南会津町     | 目撃情報               | 解放           |
| 7   | 2021.3.28  | 西郷村小田倉   | パラボックス感染症          | 死亡           |



図1. 野桑を食べているカモシカ

野生に復帰できた成績はなかなか厳しいものですが、これが現実なのです。

No. 4の例は出血を伴う肺水腫で急死しており、その後の文献検索の結果、サツマイモ中毒を疑う珍しいものでした。

また、No. 6のカモシカの現地の教育委員会の人たちの手で、雪の中から救出され解放された例は、カモシカレスキューの大きな光明でした。

## ご意見募集中!

館内展示の充実や今後のイベント検討のため、皆さまのご意見を募集しています。こんなイベントに参加してみたい! 東日本大震災が野生生物に与えた影響についてもっと詳しく知りたい! など、ご意見を館内のアンケートにてお聞かせください。アンケートをご記入いただいた方には、野生生物共生センターオリジナルのグッズをプレゼントいたします。

※当該プレゼント企画は予告なく変更・終了する場合があります。